



旧年中は大変お世話になりました
本年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

平成三十年 元旦



みどり荘から見える風景



平成30年 1月号

岩国市由宇町千鳥ヶ丘1-1-1
特定医療法人 南和会
老人保健施設 みどり荘
[http://www.nanwakai.jp/
midorisou](http://www.nanwakai.jp/midorisou)



新年の挨拶

施設長 有馬喬

皆様、新年明けましておめでとうございます。
いります。

地域包括医療の中で、ケアシステムを軸とし、地域ケア・地域支援を強調する「みどり荘」を御利用戴き本当にありがとうございます。

又、毎年の事ながら、現在の厳しい日本への未来に期待される幼子様を始め、数多の熱情溢れる地域ボランティアの方々に只管感謝の一語です。誠にありがとうございました。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

全老健会長の東憲一郎氏の年頭所感として、社会保障財源確保と在宅支援の評価を最大のテーマと述べられても、時代の流れと共に高齢者の増加による嫌老社会と介護者の不足の現況は将来に悔痕を残す幻影のように思われてなりません。

昨年(平成二十九年)を総称して、「北」とされた北朝鮮の核の問題も、ノーベル賞に輝く元素の発見と驚異のエネルギーによるものです。限りなく発展する科学の流れは、火宅無情の世界は喜びに歓喜し、悲しみに狂乱し落胆することが多

いこの世の姿です。

因みに昨年の年の暮に、私には珍しく久し振りに遠方より子、孫が大挙して我が家に帰つて来ました。喜びも束の間、同じ時刻に家内の身内の我が友の悲報を受け、弔儀の行事を全員で参加し、慌しい年の暮でした。

翌朝は平成三十年元旦です。淑氣を新たにし、大自然（神仏）に向かって、新年を無事に迎えられ、感謝と喜びを瑞兆に満して参宮し、今年の銘題「社縁と献身」をお誓い致しました。その翌日は、又、老々の二人となりました。

今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）犬の年です。戌の縁起は親しみ深い社会性を持ち、忠実に勤勉努力する意を含めて、今年の銘題を「社縁と献身」と銘命し、この一年間の目標としました。

私の職責の一部としての通所ケアの卓話も二百三十一回と成り、徳山東オールドロータリークラブの新年会の抱負としても銘題を披露し、老健「みどり荘」におきましては、職員と共に充実された地域社会性を目指し、銘題と共に老健の質の向上と地域との連帯調和の成就を祈念致しまして、新年の辞とさせて戴きます。



明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

今年に入り、記録的な大寒波が続いていますが、お変わりございませんか？

早や立春も過ぎ、少しづつ春の訪れを感じられるものかと・・・。
なれど『春よ來い』と歌つても、この四月からの「介護報酬改定」は相当厳しく、温かくなるどころか底冷えするものです。この対応策は、ただ一つ「介護老人保健施設」の理念と役割を再認識し「サービスの質向上」を以てする他ありません。『笑顔溢れるご利用者様本位のチームケア』で、これを実現していきます。

そのため

『入所』においては、丁度二年前に、「在宅復帰・在宅療養支援機能加算型老健」へ転換しており、今後は、「生活リハビリ」の取組強化でもって「強化型老健」を展望した運営を展開していくたいと思います。

ご利用者の願い『家に帰りたい』を叶えるために・・・。

介護老人保健施設の理念と役割

介護老人保健施設は、利用者の尊嚴を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一緒にしたケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

本年も、皆様のお知恵を拝借しつつ引き続き『選ばれるみどり荘』を創つていきますので、宜しくお願ひ申し上げます。

事務長 半田 達也



介護プロフェッショナルキャリア段位制度



★キャリア段位制度とは？

「キャリア段位制度」は、成長分野における新しい職業能力を評価する仕組みであり、企業や事業所ごとにバラバラでない共通のものさしをつくり、これに基づいて人材育成や定着を図ることを目指しています。



★アセッサー（評価者）とは？

「キャリア段位制度」において、介護プロフェッショナルとしてのレベル認定を受けるために職員の実践的スキルを評価する「アセッサー」（評価者）が必要です。

条件を満たした職員選び、アセッサー講習を受講・修了・登録する必要があります。

「実際にその現場で何ができるのか」という部分を補うため、「わかる（知識）」と「できる（実践的スキル）」の両面を評価し、職員のレベル認定を行います。

わかる (知識)	「アセッサー」が介護職員の日頃の仕事の様子や業務の記録等を見て評価します
できる (実践的スキル)	介護福祉士養成課程、介護初任者研修等の講義を終了したことで評価します



★キャリア段位制度に取り組んで何が変わるの？

- 技術の再確認・スキルアップができる
- 介護の目的、根拠の理解を深めた上で実務を行える
- スキルアップへの意欲向上、自信につながる
- 専門職としての自覚ができる
- 現場で何ができるかを証明できる
- 介護技術の標準化、指導方法・内容の標準化ができる
- サービス水準をアピールできる
- ご利用者様への対応、介助方法についての意見交換の機会が増え、質の向上を図ることができる（レベルアップ） ↗



□アセッサー講習を受講！

今回私たちは、介護キャリア段位制度のアセッサーとなるべく、講習を受けさせていただきました。

受講内容として先ず、「テキスト学習」で事前学習をし、その後パソコンを使用して「e ラーニング」を受講しました。「トライアル内部評価講習」では、アセッサーとなった後に実際におこなう内部評価を課題実施しました。さらに「集合学習」では講師によるアセッサー講習があり、確認テストが実施されます。テストはとても難しく、介護技術評価ではケアの内容を精密に分析し、評価基準も抽象的ではなく客観的に設けられている基準に基づき評価していきます。

家の用事が終わった夜中や休日を使っての勉強はとても大変でしたが、無事に修了することができ嬉しく思っています。今回学んだことをもとに、アセッサーとして職員の人材育成、スキル向上、人材定着に貢献できるよう努力していきたいと思います。



介護福祉士 西岡千里
介護福祉士 佐田智美



一月六日（土）大野神舞保存会による
獅子舞が披露されました。



1月11日（木）餅つきが行われました。慣れない杵を持つ職員でしたが、ご利用者様の「よいしょ～！」の声援を受け、立派なお餅が搗き上りました。
搗き上がった三色のお餅は、ぜんざいに入れて美味しくいただきました(^^♪

【題字】中田亮次著
【編集委員】植田 松田 新井



瑞風なら文句なし！！

「なんという事でしよう！」（某番組風）
よく見ると、上りと下りの電車が写つて
いるではありませんか。なんという偶然。
撮り鉄オタクもびっくり（△）
いつもは笑えないギャグに冷たい視線を
投げている事務員二人が、思わず褒めて
しまったこの一枚。「初めて褒められた」と大喜びの事務長。
ただ、スマホ画面を指で拡大するまで気
付かなかつたようですが……。（笑）

あけましておめでとうございます。
暖かく穏やかなお正月を迎えたのもつ
の間、極寒の季節がやってきました。
私の家でも水道管の凍結でお湯が出なく
なり、急ぎよ由宇温泉へ。家から近すぎ
てなかなか利用することがありませんで
したが、久しぶりの温泉に癒されました。
周防大島では水道管破裂で大変な被害に
あわれたと思います。寒い中の給水は
大変だったことでしょう。
さて、話は変わりますが、表紙の「み
どり荘、今年の年賀状」。事務長が写真撮
影をしたのですが、たまたま、運よく、
気付かないうちに、素晴らしい写真が撮
れました。

ほつと一息